

GOVERNOR'S

Rotary International District

MONTHLY LETTER

2016-17 2760



人類に
奉仕する
ロータリー



CONTENTS

- | | | | |
|----|--|----|----------------------|
| 02 | ガバナーメッセージ | 16 | 公共イメージ向上委員会報告 |
| 03 | 青少年奉仕月間 | 17 | 「名古屋ウイメンズマラソン完走!!」報告 |
| 08 | 環境保全週間 | 18 | 桜まつりについて |
| 09 | 西名古屋分区分区インター・シティー・ミーティング(IM)報告 | 19 | 名古屋南RC創立60周年記念式典報告 |
| 10 | WFF収益事業の報告—インドネシア(3410地区)を訪ねて | 20 | 新城RC創立50周年記念式典報告 |
| 11 | ロータリー100周年を祝おう・東三河分区分区親睦ゴルフ大会開催 | 21 | 財団室NEWS2017年5月号 |
| 12 | 「2017年地区研修・協議会のための指導者会議」報告 | 28 | ハイライトよねやま205 |
| 13 | 第30回白鳥RC主催6地区合同交換学生スキーの集い報告 | 30 | 風の便りVol.2No.13 |
| 14 | D2760 第25回地区RYLAセミナー
第1回日本RYLAセミナーの報告 | 31 | コーディネーターニュース |
| 15 | 2017学年度新規米山記念奨学生オリエンテーション開催報告 | 32 | 文庫通信／米山梅吉記念ご案内 |
| | | 33 | 会員数及び出席報告 |

ガバナー月信
2017 / May

5



ガバナーメッセージ



Rotary Serving Humanity
人類に奉仕するロータリー



ガバナー 服部 良男

ロータリーの青少年交換プログラム



3月27日、28日、29日の国際ロータリー「第30回交換学生スキーの集い」に参加してきました。長野(2600)・愛知(2670)・岐阜三重(2630)・静岡山梨(2620)に青森(2830)、岩手宮城(2520)から交換学生とロータリアン総参加者200名が白馬に集い、白馬RC会員12名でお世話いただきました。素晴らしいプログラムでした。白馬RCの記念例会、各地区のオリエンテーション、交換学生・白馬高校生との交流会とスキー・スノーボードの体験など、真のロータリアンとロータリーの奉仕活動の神髄を経験さ

せていただきました。白馬RCや関係者の皆様に感謝をしております。

ロータリーの青少年奉仕プログラムの中でも、青少年交換プロジェクトは、最もロータリーのブランドを生かした、プロジェクトだと思います。

実は私自身も、高校一年の15歳の8月から、一年間アメリカのイリノイ州のDecaturとう田舎の町に留学した経験があります。時は1967年、アメリカはベトナム戦争の真ただ中、中国では文化大革命の中、江青四人組が幅を利かせた時代です。1ドルは360円でドルの持ち出しには、制限があり200ドルでした。

9月1日高校に入学すると、「お前は、ベトナム人か?」「中国人か?」という質問をされ「いや、日本人だ」と答えても、まだ日本がどこにあるのか、知らない時代でした。佐藤栄作首相が米国外遊の際、イリノイ州の州都を訪問されそのパーティーに招かれましたが、日本人留学生はたった3人でした。しかし私自身にとっては、アメリカの豊かさ、自由と寛容さを実感する体験であり、一年間で多くの友人を作り、人生で大切なことを学びました。

この体験が、大学を卒業後、1977年から79年まで、アメリカ、エバンストンのノースウェスタン大学の大学院で経営学を勉強する原点であります。そしてロータリーとの最初の接点でもあります。実は、毎日当時の国際ロータリーの本部の前を歩いて通っていました。(今の本部は、アメリカンホスピタルサプライという医療機器メーカーの本社があった所でした。)

その後日本で日本語学校を開校し海外からの留学生のお手伝いをするのもこの体験がなければなかったと思います。まさに、私自身の人生を変えた留学経験です。もちろん私費留学でしたので、いろいろな苦勞がありました。

しかしながらロータリーは高校生の留学に関してすべての課題を解決、支援しています。世界で最も安全で安心できる高校生の交換留学プログラムです。

ロータリアンの皆様、誇りと自信を持って、もっと多くの人を派遣し、受入しましょう! 我々の未来のために。宜しく申し上げます。





青少年奉仕月間について

地区青少年奉仕委員会 委員長 寺本善雄

長い歴史のある当地区の青少年奉仕活動は、今年一つの節目の年となったと考えます。

インターアクト委員会は、昨年10月に「第5回全国インターアクト研究会」を開催。「主役はインターアクター!」のテーマのもと活動発表と共に「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」におけるアクターの活躍する姿を見ていただき、全国に大いにアピールしました。

RYLA 委員会は、今年3月に初開催となる「第1回日本 RYLA セミナー」を地区 RYLA と並行して開催。これは参加者を全国から募集し、将来の日本のリーダー育成を目的とした2泊3日のセミナーで、地区 RYLA 参加者も大変刺激を受け、また当地区の RYLA の特徴である多数の高校生の参加するセミナーを全国に伝えることができました。

青少年交換委員会は、今年度10名の海外派遣生を送り出すとともに海外からは同じく10名の留学生を受け入れております。昨年7月の派遣志願者選考試験には16名の多数の応募があり、選考には大変頭を悩ませることとなりました。

ローターアクト委員会は、地区全体の会員数が120名と横ばいの状態が続く中、本年度は活動内容を広く知っていただくDVDビデオを作成しました。これには服部ガバナーはじめ多くの関係者に登場いただき、現在、このビデオを紹介しながら卓話を実施中で次年度に向けての手応えを感じております。

この4委員会は活動の相互交流も積極的に進めており、WWFでは4委員会の一致協力した活動が事業の成功を支えております。RYLA セミナーの高校生参加者80名の半数はインターアクターです。来日留学生も主要な事業には全員参加しており、IACとRACの交流も進んでおります。また、米山奨学生のRACへの参加も実現し、次年度には奨学生学友がクラブ会長に就任する事例も出てきました。長年の課題であった4委員会、地区内の全ての青少年関係者の相互交流が一定の成果を上げて来たと考えております。

5月14日には「第2回地区内クラブ青少年奉仕委員長会議」を開催します。本年度と次年度のクラブ青少年奉仕委員長にお集まりいただき、活動の成果を共有するとともに次年度の更なる飛躍に向けての準備をしまいたします。青少年奉仕活動に対する更なるご理解とご協力、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。





青少年奉仕月間に向けて

地区インターアクト委員会 委員長 佐藤裕彦（豊橋RC）

ロータリークラブ奉仕の第5部門である青少年奉仕の常設プログラムの一つとしてインターアクトクラブ（IAC）があります。インターアクトクラブは12歳～18歳までの青少年のための奉仕クラブで、ロータリークラブによって提唱されロータリアンの指導と支援のもとに地域社会に密着した奉仕活動を行っております。2760地区においては1964年に創立された豊川高校IACを初めとして17のインターアクトクラブがあります。其々のクラブの特色を出しながら募金活動や障害児や高齢者の支援活動、地域の清掃活動等、活発に活動しております。近年は地区内クラブ同士の交流やインターネットを通じた情報の共有化、ロータリーファミリーを通じたネットワーク強化が進められており会員数の増加や新しい事業の取り組みが活発に行われてきております。本年度は第5回全国インターアクト研究会が2760地区ホストのもと開催されました。研究会では、各IACで行われている様々なボランティア活動等が紹介されました。また全国から集まったロータリアンには、実際に『第4回ワールドフード+ふれ愛フェスタ』にも参加していただきました。2760地区のインターアクターによる会場清掃活動や地域のキャラクターの着ぐるみ活動、またエンドポリオブースの活動等、公共イメージの向上と認知度の向上のために積極的に活動している様子を見ていただきました。



今後とも提唱ロータリー様を初めとして地区役員の皆様、地区内の関係するすべての皆様に、IAC活動において一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。





青少年奉仕月間について

地区ローターアクト委員会 委員長 西本一幸

地区ローターアクト委員会の委員長をさせていただいて3年目になります。

普通であれば集大成としての年度であり、それなりの成果を残さねばならないのですが、

残念ながら残しているのは課題ばかりです。

「いったい何をやってるんだ」と叱られそうですが、これまでの3年間、会員増強をひたすら叫び続けてきました。多少の増減がある中で、全体として120名前後の会員数を維持してきたわけですが、クラブ単位で見ると大きな開きがあり、会員数2名、もしかして1名になる可能性もあるという、物理的に存続が危ぶまれるクラブがあることに遅まきながら気づきました。会員数一桁という状況はこれまでもいくつかのクラブでありましたが、皆さんの努力で乗り越えてきました。「何とかなるだろう」そんな楽観的な考え方が心にあったことは否めず、深く反省しております。最後まであきらめずに地区として可能な対策をすべて行い、大切な灯を消さないように最大限の努力をしてみたいです。

5月は青少年奉仕月間、3月は世界ローターアクト週間でもありました。青少年のことを考える絶好の機会を何度もいただくのに、前述のように問題への対応が遅れ、こうした機会の持つ意味が活かされておらず、名ばかりの月間や週間になっているように思えてなりません。

2010年から青少年奉仕が五大奉仕のひとつとなり、ロータリーの重要なミッションとなりました。「やらなければならない奉仕活動」になっていることを改めて認識していただきたく思います。

5月は青少年、RACについて皆さんで考える月間、そして何らかのアクションを起こす月間としていただき、個々にでもクラブでも大いにアクターと交流して欲しいと思います。ローターアクトの名前は「ロータリー」+「アクション」ということです。

どうかロータリアンの皆様、ぜひ「アクション」してください。
今度ともRACへのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。





青少年奉仕月間について

地区RYLA委員会 委員長 竹内幹尚

中核的価値観「親睦」「高潔性」「多様性」「奉仕」「リーダーシップ」5項です。ロータリー戦略計画の原点であり、組織活動の「基本原則」を表すものとされています。最後のリーダーシップは「指導力」と訳さず英語と同じ「リーダーシップ」であります。これはリーダーシップの中にもっと深い意味があるからです。青少年のリーダーシップ養成の研修がRYLAであります。3月24~26日3日間第1回日本RYLAがD2760地区豊田の地で開催されました。その折にジョンF.ジャーム国際ロータリーRI会長よりメッセージを頂きました。ご紹介させていただきます。



「第1回日本RYLAに出席された青少年の皆さんへ」

古代ギリシャの弁論家デモステネスは、かつて、「偉大な事業は小さなチャンスから始まる」と述べました。しかし、本当にそうでしょうか。私はそうは思いません。偉大な事業は“小さな”チャンスから始まるのではなく、“偉大な”チャンスから始まるのです。ただ、偉大なチャンスは、時として小さいものに見える、というだけなのです。

RYLAは、この偉大なチャンスを見つけるところです。ただし、チャンスはどう生かすかというのは、皆さんが決めることです。チャンスは、ほんの小さなものに見えることもあり、皆さんが行うことはそれほど重要ではないと感じてしまうかもしれません。しかし、チャンスは決して小さくありません。皆さんが行うこともすべて重要な意味をもっており、特にそれは、皆さんが手助けしている人や大切に思っている人にとっては、なおさら重要となります。今日の世界でも、未来の世界においてもです。また、皆さんが心に決めたことがあるとしましょう。それを皆さんが実際に始めるまでは何も起こりませんが、皆さんがあきらめない限り、それは生き続けます。私たちの仕事、そして私たちの決意は、そうして徐々に大きくなっていき、やがては多くの人の生活に変化をもたらすようになるのです。

私たちは皆、チーム一丸となって活動します。ロータリーにおけるリーダーシップとは、奉仕することです。そうして力を合わせることで、より多くを成し遂げるのです。私は皆さんを、この素晴らしいチームの一員として歓迎しますが、皆さんにも、チームの一員として、人助けへの強い熱意、思いやりの心、そして探究心をもっていただきたいと思います。このチームで必要とされるのは、誠実、多様性、寛容、友情、そして平和を信じる人。そして、多様性は力であり、高い倫理基準は時代を問わず重要で、ポール・ハリス（ロータリー創設者）が信じたように、人類への奉仕は私たちができる最も価値あることだと確信できるリーダーです。皆さんの友人・知人もぜひロータリーに誘ってください。人類への奉仕を通じて世界に永い変化をもたらす、偉大なチャンスを見つけるために。

より良い社会を築き、変化をもたらすために、皆さんがこれまでに成し遂げられたこと、いま取り組んでいること、これから挑戦されることに対し、心から感謝申し上げます。偉大なチャンスをつかみ、「人類に奉仕するロータリー」を一緒に実現しましょう。

心を込めて

2016-17年度国際ロータリー会長 ジョンF.ジャーム



青少年奉仕月間について

地区青少年交換委員会 委員長 高木政義

青少年奉仕についての「世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラム」として青少年交換事業があります。青少年が二国間を相互に訪問するユニークなプログラムです。交換の始まりとされる時よりおよそ 90 年の歴史があります。

第 2760 地区では 1968 年より毎年多数の学生が交換事業に参加しています。青少年交換プログラムはクラブ間の事業であり、世界中のクラブが青少年交換により結ばれています。この青少年交換には数週間の短期交換もありますが、当地区では現在は交換期間一年の長期交換を実施しています。



2016-17 年度は 10 名がアメリカ、カナダ、フィンランド、ノルウェー、スイス、フランス、ブラジルに派遣され、同数の学生が来日しました。今年の夏に派遣生、来日学生が各々帰国します。交換学生は一年間派遣国で国際親善、異文化体験、相互理解を通じて大きく成長します。派遣生をセントレアで迎える時、一年前の姿からの変化に驚かされるのが常です。その笑顔は親善大使としての役目を十分果たしてきた証です。交換学生としての一年間の経験は重くいつまでも残るでしょう。

“交換”は交換学生のみでなくこの事業に関係した人達にも種々の影響を与えます。学校の生徒、ホストファミリー、ホストクラブ会員などとの様々な出会いが生まれます。特に来日学生受入高校の学生には学校生活での刺激となり、ホストファミリーにとっては家庭内が多彩になるでしょう。

この素晴らしいプログラムにも課題があります。クラブがベースとなりますので、参加クラブの増加が望まれます。また滞在期間中の来日学生を世話するホストファミリーが不足すれば円滑な運営ができません。

青少年交換プログラムが今後も継続し、活発となるよう関係者の協力、支援をお願い申し上げます。





環境保全週間について

地区社会奉仕委員会 副委員長 井口貴嗣

地区社会奉仕委員会の井口です。日頃は各ロータリークラブの社会奉仕委員長、環境保全委員長、RCC 委員長の皆様には大変お世話になっております。また 10 月 28 日に開催しました第 1 回地区内クラブ社会奉仕委員長会議には、大変多くの委員長に参加頂きありがとうございました。本年度の社会奉仕活動に役立てて頂けていたら幸いに存じます。



当委員会では第 2 回委員長会議に向け、各ロータリーの皆様の活動情報の収集をさせて頂いております。特に環境保全に関する各ロータリークラブの皆様の活動は、大変多くの活動実績がございます。それぞれの地域に密着したもの、長年その地域にはなくてはならないものなど、毎年当委員会で情報収集をしますが、素晴らしい活動だなあと感心する実施例ばかりです。「地域の人びとにもロータリーのブランドを知ってもらいましょう」という点におきましては、地域で環境保全活動をされるのが最適かと思っております。5 月 17 日に第 2 回地区内クラブ社会奉仕委員長会議が開催され、その折に各クラブの環境保全活動実績や社会奉仕活動、RCC 活動の記録を発表、情報として提供させていただく予定です。各ロータリークラブの皆様の参考になればと思っております。

そして当委員会の環境保全グループのもう 1 つの活動として愛知県環境部との連携、情報発信があります。地区に環境保全委員会があった頃からのお付き合いが続いており、特に「あいち生物多様性戦略 2020」の会議体への参加、またそこでの情報発信をさせて頂いております。「人と自然が共生するあいち」の実現が基本目標に掲げられており、地区内のロータリー活動と一致するものがたくさんあります。地区内には 9 つの生態系ネットワーク協議会がありますので、お近くの協議会にご参加、ご協力など頂けたら幸いです。当委員会にお問い合わせいただければ情報、資料等をお渡しできます。ぜひご活用ください。

以上、環境保全週間について当委員会からのお伝えしたい事とさせていただきます。



西名古屋分区インター・シティー・ミーティング (IM) 報告

西名古屋分区 ガバナー補佐 深谷友尋



この度の西名古屋インター・シティー・ミーティングはロータリー財団創立 100 周年を祝い「子供たちにポリオのない世界を」テーマに開催致しました。

西名古屋 IM は 2 年のブランクがありましたが、13 クラブ会長幹事のご協力のもと、素晴らしい IM を開催することが出来ました。服部良男ガバナー並びに分区ガバナー補佐をはじめ地区役員の皆様にも謹上華を添えていただき衷心より厚く御礼申し上げます。また名古屋クラブを始め市内 13 クラブの会員皆様、457 名のご登録を賜り誠に有難うございました。

会に先立ち、地区ロータリー財団へロータリー財団創立 100 周年記念ポリオ撲滅寄付並びに米山記念奨学会寄付をそれぞれに寄贈いたしました。

西名古屋分区の各クラブは醸成されたクラブ運営を行っており、各クラブ紹介にもそれぞれのクラブの特色が発表され各クラブ間の情報交換が出来ました。本年度の国際ロータリーのテーマ「人類に奉仕するロータリー」を提唱され、またガバナー方針を「真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう」と定めロータリー活動を行ってまいりました。



国際ロータリーは規定審議にて、現状のロータリー精神を堅持し、よりわかり易く、身近で、参加しやすいプログラムへと変わりつつあります。

そこで国際ロータリー理事齊藤直美様より「ロータリーはかわる」と題して基調講演をいただき、未来のロータリーの新しい方向性について御講演賜り、より実践的なお話を聞くことが出来ました。

記念講演には、中部大学教授の武田邦彦先生より「エネルギー環境の近未来」と題して、武田先生のユニークなロータリアンの健康の秘訣から超寿命・環境問題と多岐にわたる興味深いお話に魅了された御講演でした。

アトラクションには、世界を舞台に活躍されているジャズ・バイオリニスト寺井尚子さんの繊細な表現力と情熱的な演奏に参加者一同酔いしれました。

最後に梅田武久実行委員長をはじめ、みなとロータリークラブ鈴木哲会長、会員の皆様にご協力を頂き心から感謝申し上げます。





WFF収益事業の報告 — インドネシア（3410地区）を訪ねて

WFF実行委員長 パストガバナー 加藤陽一



WFF 実行委員会と地区国際奉仕委員会のメンバー合計 14 名で、去る 4 月 8 日から 11 日まで、3410 地区ジャカルタを訪ねました。WFF の収益金を使った事業で、国際奉仕委員会のクラブ委託事業も兼ね、ロータリー財団の地区補助金を加えた合計 300 万円での「教育支援事業」です。3410 地区のパストガバナー（PDG）エバさんをリーダーに、ジャカルタ市内のスラムに設けた貧困家庭の子供たちのための教育施設の整備事業を行いました。

視察した施設では子供たちとの交流、地元コミュニティのリーダーたちとの面会、先生たちとの意見交換なども行い、施設を継続的に有効利用することを求めました。以前は不衛生で非常に蒸し暑く、机も椅子もない劣悪な状態でしたが、今回の当地区からの支援により、部屋は清潔に改装され、扇風機も設置し、水回りの設備も整備してより健康的な状態で子供たちが勉強に専念できる環境ができました。パソコンやスピーカー等の IT 機器も設置しました。ここでは特に数学と英語を教えています。もう一つの大事な目的として「人格形成」を掲げています。つまり「人間として正しい分別」を身につけさせて、周囲の悪い誘惑に惑わされることなく、心の強い人間を育てることを目指しています。ジャカルタには 17 のクラブがありますが、エバ PDG のスнта・セントラル RC や昨年ガバナーであるヒダヤット PDG のジャカルタ・メトロポリタン RC などがリーダー役となってこれらの Literacy Project を推進しています。この事業に当地区の地区事業と参加できたことを嬉しく思うと同時に、昨年 10 月の WFF に広告協賛や協賛チケットの購入でご協力いただきました皆様に改めて深く感謝する次第であります。

3410 地区からも昨年の WFF には 14 名が参加し、この事業に向けて一緒に歩んできました。2 つの地区が同じ目的のために一緒に汗をかき、そして一緒に喜びを分かち合えたことは今後の両地区の関係強化に大いに役立ったのではないかと思います。そして、我が地区内のクラブの皆さんが 3410 地区で奉仕事業を行う際にはこの強固な友好関係をご利用いただけたら嬉しく思いますし、それも WFF の大きな役割の一つだと思っております。どうぞ皆さん、インドネシアでたくさんの奉仕事業や姉妹クラブ提携を行ってください！





ロータリー100周年を祝おう・東三河分区親睦ゴルフ大会開催

東三河分区 分区副幹事 伊藤正幸

2017年4月17日、伝統と格式のある平尾カントリークラブで、「ロータリー100周年を祝おう・東三河分区親睦ゴルフ大会」が分区内12クラブの紳士淑女のロータリアン127名の参加で盛大に開催されました。

親睦ゴルフ大会は、ホストを務めた豊川宝飯RCのゴルフ同好会が中心となって、準備を進めて参りました。

朝から穏やかな天候で南から低気圧が近づいている中、3コース同時にスタートをしました。残念ながら、途中から嵐のような大雨でゴルフはハーフでの終了となりました。

ここ数年、東三河分区のゴルフ大会は雨の中の開催になっております。来年こそは、穏やかな春の陽ざしの中で開催できればと願っています。



ガバナー補佐あいさつ



ゴルフ大会受付の様子

今回は、ショートホールをチャリティホールとして、ロータリー財団100周年を祝うチャリティを行いました。ハーフでの終了となりましたが、参加された殆どのロータリアンが、表彰式の会場で快く募金をして頂き113,000円の浄財が集まりました。「国際ロータリー第2760地区」の名称でロータリー財団に寄付をさせて頂いたことをご報告させていただきます。



表彰式

表彰式



ゴルフ終了後の表彰式



「2017年地区研修・協議会のための指導者会議」報告

次期地区幹事 加藤定伸



平成29年4月2日の日曜日、桜が咲きはじめた名古屋城の隣にあるウェスティンナゴヤキャッスルホテルで、一宮北ロータリークラブをホストクラブとして、国際ロータリー第2760地区2017-18年度地区研修・協議会のための指導者会議が開催されました。

ホストクラブ関係者を含め、100人の参加者が、予め分科会毎に分けられた各テーブルに着席後、定刻、ホストクラブの鳩山住江会員の司会で開会し、服部良男ガバナーから、「この指導者会議は服部年度・神野年度の両年度にとって重要な会議であり、神野重行ガバナーエレクトの方針を浸透させるためにしっかりとディスカッションしていただきたい」とのご挨拶を賜り、続いて神野重行ガバナーエレクトから、ホストクラブに対する



御礼とともに、本日は次年度の準備の仕上げ段階であり、地区の指導者のみなさまとともに、22日開催の地区研修・協議会の成功のため、本日の指導者会議の運営をがんばって行っていきたくないと挨拶がありました。

引き続き、次期地区研修リーダーでパストガバナーの近藤雄亮様より、指導者会議への協力をお願いと今回は特に新入会員研修を重視した分科会を設置した旨をご挨拶で述べていただき、ホストクラブ会長の船越孝様から、22日は1600人以上の登録があった旨の報告とともに、心のコもったホストクラブ挨拶、そして、実行委員長の加藤勉様より、地区研修・協議会の概要説明をいただきました。

分科会は、神野重行ガバナーエレクトをリーダーとするクラブ管理部門を対象とする第1分科会を始めとして、クラブ運営部門、公共イメージ向上部門、国際奉仕・社会奉仕・RCC・環境保全部門、職業奉仕部門、ロータリー財団部門、青少年奉仕部門、米山記念奨学部門と、例年通りの8つの分科会に加え、今年のみ玉である第2ゾーン公共イメージコーディネーターの高野孫左エ門様（第2620地区パストガバナー）に講演をいただく「新会員研修部門」の第9分科会までが設置され、各



分科会別会議では、分科会リーダー、アシスタントリーダー、地区副幹事、地区スタッフ間で和気あいあいとしながらも真剣に討議が行われ、約1時間の分科会運営会議終了後、その結果について分科会毎にリーダーが報告を行い、最後に神野重行ガバナーエレクトがお礼の言葉を述べ、終了しました。



第30回白馬RC主催6地区合同交換学生スキーの集い報告

地区青少年交換委員会 委員 吉岡秀記

白馬 RC 主催の「第 30 回交換学生スキーの集い」が 3 月 27 日から 29 日まで長野県白馬村にて開催された。今年は記念すべき 30 周年を迎え、参加者は記念すべき節目を機に相互理解と世界平和を推進するロータリークラブの精神を元に新たな仲間との絆を深めるべく清々しい白馬の地で地域・国境を越えた交流の輪を広げた。愛知、岐阜、三重、静岡、山梨、長野、青森、岩手、宮城の 6 地区 9 県の学生とロータリアン、そしてアメリカ、カナダ、ブラジル、フランス、スイス、ドイツなど 9 か国のインバウンドら総勢約 200 名が一同に会した。この集いは、もともと 2760 地区が中心となって日本人を含む交換学生の交流会を始めた事に周辺地区が賛同し次第に拡大し、今回は最大規模での開催となった。



28 日は宿泊先の白馬東急ホテルで開会式が行われ、参加者は地元の白馬高校生と岩岳スノーフィールドでスキーとスノーボードを通して交流した。岩岳スノーフィールドは今シーズンの営業を終了していたが、この集いのために全面協力し貸切でゲレンデを開放して下さり学生たちの歓喜がこだました。学生たちの中にはスキーが初めてという子のみならず、初めて雪に触れたという来日学生もいて晴天に恵まれた白馬の雄大な雪景色を満喫した。

また、白馬高校の生徒やインストラクターのサポートを受けながら斜面を滑るなど大いに楽しんだ。

夕食後は各地区に分かれて、この 8 月から派遣を控えた派遣候補生たちが準備してきたパワーポイントを使用した英語による自己紹介のトレーニングを行った。これはステイ先のクラブで



卓話やホストファミリーとのコミュニケーションにすぐに役立つもので、派遣候補生たちは私達委員会の厳しい指導にもめげず、真剣に取り組む姿勢が印象的だった。また、来日学生たちも派遣候補生に自己アピール法をアドバイスし充実したプレゼン練習会となった。

各地の青少年交換委員会がこの広域開催の集いという取り組みに注目しており、視察に訪れる地区もあり、40 周年に向けてさらに充実し発展する事が望まれている。



D2760 第25回地区RYLAセミナー 第1回日本RYLAセミナーの報告

地区RYLA委員会 委員長 竹内幹尚



第25回地区RYLAセミナー3月25日(土)26日(日)2日間全トヨタ労連研修センター(つどいの丘)で開催いたしました。今回は同場所にて、第1回日本RYLAセミナー3月24日(金)~26日(日)3日間開催をしました。大変多くの受講生がこのRYLAセミナーに参加してくれました。ご推薦いただきました各クラブの会長をはじめ、青少年奉仕関係の皆様、そして、豊田RCの会長はじめ実行委員会の皆様の多大なるご支援と協力のもと、無事終了する事が出来ました。多くの青少年の

心の燈をともせたと感じます。



2日間のRYLAセミナーに愛を込めるためにも、プログラムに約1年の準備を要しました。RYLAは青少年奉仕活動の中で本質的な活動をしています。

即ち、ロータリー活動そのものだと思っています。中核的価値観に沿ったプログラムであります。

RYLAセミナーは一業種一会員のように色々な地域から出来る限り見知らぬ人で集まります。今回も愛知県下の高校生、海外からの青少年交換留学生、様々な職業の社会人が集まりました。

まずは「出会い」から始まります。「親睦」(寝食を共にする)「奉仕」(ロータリーの奉仕の倫理:ロータリーDNA)の心を育みます。人から学び、「自主性」に任せます。己の至らざるところをロータリアンから学び、自己研鑽、切磋琢磨によって学び合います。「高潔性」、「多様性」、「リーダーシップ」の実践と体験で自分を見つめ直す機会を体験します。



今回両方で140名以上のAwardsを授与しました。RYLArianの誕生です。今年度委員会のテーマ「RYLAのはじまり」「始まりがあっても、終わりはない!」RYLA Awardsは終わりではなく始まりなのです。今からあなたもロータリーファミリーですよ、地域に帰って実践して頂ける事を期待するものであります。燈がともるか否かは、彼等次第であり、10年後、20年後にともるかもかもしれません。永遠にともらないかもかもしれません。

ただ、ロータリーとしては、そのための種を蒔いておこう。その種が芽生えるか否かは、私たちが信頼した彼等彼女等に委ねよう。暖かく見守って行こう。そして、未来に期待をかける。これが、RYLAの趣旨です。





2017学年度新規米山記念奨学生オリエンテーション開催報告

地区米山記念奨学委員会 委員長 金田英和

4月13日(木)名古屋キャッスルプラザホテルにて、2017学年度新規米山記念奨学生のオリエンテーション(入学式)が開催されました。神野重行ガバナーエレクトはじめ、米山記念奨学会理事の近藤雄亮PG, 特別委員会委員長江崎柳節PG, 評議員田中正規PGにご臨席いただき、新規奨学生39名、指導教員20名、世話クラブ他ロータリアンの皆様、総勢180名のご参加をいただき、盛大に開催されましたことをご報告いたします。第一部はロータリアンだけのカウンセラー研修会です。今年のカウンセラーは、初めての方が半数以上いらっしゃるようで緊張した面持ちでした。来賓からのご挨拶のあと、私からカウンセラーへのお願いと題して30分ほど話をし、地区委員会の活動を記録したDVDを見ていただきました。第一部が終了したのち新規奨学生たちの入場です。世話クラブの方たちとはこの時が初対面となります。万国旗をそれぞれ手に持ち一列に並んで皆様に挨拶した後、それぞれの世話クラブの席に移動し歓談します。自己紹介に始まり、連絡先の交換、例会の日時など話は盛り上がっています。その後、青山副委員長から「奨学生の心得、義務、届出書類」、山田副委員長から「学友会」、小栗副委員長から「確約書」について説明がありました。奨学生が確約書に納得してサインした後一人一人登壇し、近藤理事から4月分の奨学金とバッジを受け取り1分間スピーチです。皆さん米山奨学生に選ばれたことの感謝と、今後の決意を話されました。



新規奨学生入場



奨学生との歓談



奨学金授与



会場風景

39名の奨学生を迎え入れることができましたのも、ロータリアンの皆様のご支援のおかげと心から感謝申し上げます。

学生たちが立派に学業を全うされ、ロータリアンの「奉仕の精神」を学びますように、今後ご指導ご支援をよろしくお願いいたします。



公共イメージ向上委員会報告

国際ロータリー第2760地区 公共イメージ向上委員会

第2回地区内クラブ広報・雑誌・IT委員長会議、次年度に向けての地区研修・協議会の為の指導者会議の記事が、中部経済新聞に掲載されました。





「名古屋ウイメンズマラソン完走!!」 報告

東海RC ランニング同好会 朝倉直子

さあ、あと3分でスタートです。長い旅です。胸は高鳴り、喉がカラカラになり、緊張してトイレに行きたくなりますが、気のせいだと言い聞かせます。



ロータリー財団100周年記念マラソン大会

ロータリークラブ マラソン大会」と位置付け、多くのメンバーも応援に駆け付けてくださいました。同日開催の「東海ロータリークラブ旗争奪中学校駅伝大会」式典に参列する会長はじめ数名は時間の都合上、途中から引き返しましたが、あとの6名は10kmを、1名は2kmを完走しました。

ある方は途中で転倒というハプニングがあり、またある方は一番後でしたが決して歩かず、最後尾の大会役員車両を先導し沿道からの惜しみない拍手を独り占めしました。75歳の方は、2kmを子どもたちと楽しく走られました。みなさんの走りに本当に感動しました。

9時10分! ついにスタートの号砲が鳴りました。

2017年3月12日ナゴヤドーム発着の名古屋ウイメンズマラソンには、過去最多の19,857名の女性ランナーが参加しました。

ランナーたちはピンクや赤、オレンジなど色とりどりのウェア、青や金髪のかつら、いろいろなコスチュームで一斉に走り出します。私たち「ランニング同好会」の女性3名もお揃いのライトブルーのTシャツと黄色のレグウォーマーで参加しました。

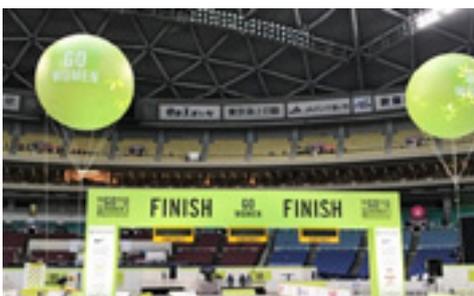
エリートランナーの方々はあっという間に折り返しゴールに向かいます。白川公園近くでは、後発の名古屋シティマラソン（ハーフ）参加の男性に抜かれます。ここで、やっと半分です。

後半は、あちこち痛い身体を騙しながら気力で走り（歩き）ます。給水・給食所ではボランティアの方々が励ましてくださり、沿道からはずっと応援の声かけられます。「がんばれー」はもちろん「あなたならできる」とか「ティファニーが待っている」など、そして、ゴールのナゴヤドームが見えてくると「お帰りなさい」の嵐です。

無事3名とも完走し「ティファニーのペンダント」をいただきました。



ウイメンズマラソン完走記念品



ウイメンズマラソン フィニッシュゲート



桜まつりについて

渥美RC 会長 三浦正好

2004年ロータリー100周年記念プロジェクト「常春の里渥美づくり」として財団地区補助金申請を行い田原市福江町に流れる免々田川(めめだがわ)沿いに300本ほどの河津桜を植樹しました。



2008年渥美クラブ創立40周年記念事業として「桜まつり」を開催し、その後、毎年桜まつりを開催するようになりました。しかし、1日だけの桜まつりだったので桜の開花時期を見定めるのが大変ではずれることもあり、リベンジの桜まつりをしたこともありました。桜の植樹から始まり、菜の花を植え、ピンクと黄色のコラボレーションが生えるようになると鯉のぼりを揚げるようになりました。会員の奥様方にも協力いただき、吊るし飾りを作成して桜並木に花を添えています。



立派な桜並木に成長し1日だけの「桜まつり」ではもったいないと地域活性化も考え、3年ほど前から桜まつり期間(3週間ほど)を設け、その間の土日週末にイベントを開催するようになりました。会員がみたらし団子を焼き、奥様方に茶店をお願いし、他団体にも協力して頂きいろいろなお店が出店され、おかげで地元住民はじめ多くの観光客の来訪を頂くようになりました。しかし、問題点が一つ!トイレが無いことでした。今年は「トイレの設置」を頑張ってみようと補助金申請をし、仮設トイレを作製しました。来



訪者の方から「自宅にもっていきたいほどのトイレ」と言っていただき頑張ったかがありました。

桜を植樹して14年目を迎えます。

毎年、年数回の作業会(雑草狩り、菜の花種取、河川の清掃整備、肥料、桜の剪定等)を行ない桜を育てています。

この河津桜が田原市の観光名所となり地域活性化につながるようこれからも

渥美クラブ全員で頑張っていきたいと思います。



名古屋南RC創立60周年記念式典

名古屋南RC 60周年記念事業実行委員会 総務部幹事 江口博寿



2017年4月5日、桜満開の中、地区ガバナー、地区幹事、東西ガバナー補佐をはじめ31名の特別出席者及び、会員100名。夫人を含め、合計186名参加のもと、60周年記念式典と祝宴を開催致しました。姉妹クラブのハワイ コナ・サンライズ RCからは、H.Dennis Rast 会長とともに、当クラブ会員が学友であったご縁で、姉妹クラブ提携の橋

渡しをされ、先般亡くなられたコナ・サンライズ RC 会員のご子息も特別参加されました。

例会での馬場研治会長の挨拶の後、式典に移り、物故会員への黙禱、近藤禎男 60周年記念事業実行委員長の挨拶と事業報告、記念事業として、瑞穂公園内のやまももの丘に設置したソーラーモニュメント灯と、ロータリー財団、米山記念奨学会への寄付の目録贈呈、永年在籍会員の表彰と続き、服部良男ガバナー、スポンサークラブである、名古屋 RC 盛田淳夫会長、コナ・サンライズ RC H.Dennis Rast 会長の祝辞を頂き式典を終えました。



続く祝宴では、欧州各地の歌劇場で活躍され、帰国後は全国各地で、様々なリサイタルやオペラ公演で活躍中の世界的ソプラノ歌手 幸田浩子さんと作曲・ピアノ演奏双方で高い評価を得ておられる藤満健氏の伴奏で、日本、イタリア、オーストリアの歌曲のコンサートを楽しみました。そして幸田さんの「乾杯の歌」をバックに、大島喜十郎実行委員会特別顧問による乾杯の発声で、春の食材をふんだ

んに使ったフレンチ・フルコースに、厳選されたシャンパン、ワイン、日本酒等を加えて、至福の時を過ごしました。会場全体の高揚した雰囲気の中、全員で恒例の「手に手つないで」を合唱し、お開きとなりました。60周年記念式典に関わって頂いたすべての方々に心より感謝申し上げます。





新城RC創立50周年記念式典報告

新城RC 50周年実行委員会 幹事 加藤久明



2017年4月15日(土)に、新城文化会館に於いて、創立50周年記念式典並びに懇親会を開催いたしました。例年より遅い桜の花が舞う春の日に、RI第2760地区服部良男ガバナー並びに岩月昭佳幹事をはじめとして、東三河分区高桑ガバナー補佐並びに分区の会長幹事の皆様、スポンサークラブである、豊橋北ロータリークラブの会長幹事様、韓国より姉妹クラブである大邱領南ロータリークラブの14名の皆様にもお越しいただきました。また、

新城市長をはじめとする市制関係者並びに当ロータリークラブの活動にご協力頂いてます、各種団体の皆様にもご臨席を賜り、盛大に開催出来ました。

記念事業といたしまして、「～地域と共に半世紀、そして子どもたちの未来へ～」をスローガンに、地域の次世代に向けメッセージを送りました。そのひとつとして、記念式典に先立ち、3月4日(土)には市内の中学生800余人を招待し、一般500名と共にジャーナリスト池上彰先生の講演会を開催いたしました。「地域に学び世界を知る」をテーマにお話を頂き、中学生の活発な質問に会場も盛り上がりました。また、市内小中学生を対象にした、地域の偉人「岩瀬忠震」を知る横浜ツアーに参加頂き、作文応募をして頂きました。また、記念式典当日には、合併後10周年に改訂された市民憲章を記念碑に記し、新城地域文化広場に贈呈いたしました。



さて、記念式典では、合併を控える地元の2校の県立高校吹奏楽部の生徒さん方の演奏によるオープニングと君が代・ロータリーソングの伴奏はさわやかで印象深いものとなりました。そして、スポンサーロータリークラブへの感謝状の贈呈に続き、地域協力団体への感謝と作文コンクールの表彰贈呈を行い、懇親会へと移りました。祝宴もRI第

2760地区岩月昭佳幹事様の乾杯のご発声により始めさせて頂き、「志多ら」による太鼓演奏でにぎやかに進め、東三河分区ガバナー補佐に締めて頂きました。

ご列席頂きました皆様方のおかげですばらしい記念式典となりました。

奉仕の理想を掲げ、地域の皆様と共に歩んできた半世紀を、見つめ直す良い機会となりました。次の半世紀を見つめ、子供たちの未来の為に、ロータリー活動の充実を図る機会となりました。感謝申し上げます。





R | 日本事務局
財 団 室
NEWS

2017年5月号
青少年奉仕月間

発行日
2017/4/28



寄付・認証

【2016-17年度 年次基金寄付ゼロクラブ数】

今年度も残り2ヶ月となりました。ロータリー財団100周年である今年度こそ、寄付ゼロクラブを0にできるよう皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

2017年4月25日現在

地区	クラブ数	地区	クラブ数	地区	クラブ数
2500	16	2620	6	2740	15
2510	15	2630	3	2750	3
2520	11	2640	11	2760	1
2530	23	2650	2	2770	1
2540	8	2660	2	2780	3
2550	3	2670	7	2790	3
2560	2	2680	3	2800	0
2570	0	2690	5	2820	1
2580	2	2700	6	2830	3
2590	0	2710	2	2840	5
2600	1	2720	5	合計	185
2610	0	2730	17		

地区内の年次基金寄付ゼロクラブの確認は、月次寄付レポートをご参照ください。
 <My ROTARY→運営する→各種レポート→クラブ/地区のレポート→寄付&認証
 →レポートを見る→月次寄付レポート>

※通常、ご寄付から約2週間後にレポートへ反映されます。

【ポール・ハリス・ソサエティコーディネーター (PHSC) 任命のお願い】

2017-18年度のポール・ハリス・ソサエティコーディネーター (PHSC) はすでにお決まりでしょうか。他の地区の役職と同じように、その年度のガバナーがMy ROTARYから登録します。登録がされていないと、PHSに関わる情報が届かない場合がございます。

※ガバナー、地区財団委員長等の役職と兼任可能です。

【2016-17年度会長賞の締め切り迫る】

会長賞の各条件を達成する締め切りは、6月30日です。財団に関わる条件もいくつか含まれており、寄付や認証、補助金活動に関連しているものもあります。各種レポートや会長賞ダッシュボードに寄付の状況が反映されるには、寄付のご送金から約2週間かかります。年度末までにレポート等で状況を確認されたい場合は、6月上旬までを目安に、ご寄付をお願いいたします。

受賞要件の確認や達成項目、達成の進捗を確認には、「会長賞ダッシュボード」をぜひご利用ください。

[会長賞 - 受賞要件およびクラブ/地区からの報告に関する情報](#)

(上記ページ内の「クラブレポート」からダッシュボードを確認できます。)

[会長賞要項\(PDF\)](#)

RIレート

5月:\$1=¥110

4月:\$1=¥116

寄付振込先:

三井住友銀行 赤羽支店(226)

普通預金 3978101

名義:公益財団法人ロータリー日本財団

明細書送付先: kifu@rotary.org

[寄付送金明細書](#)

[送金明細書記入方法・寄付分類と認証](#)

[寄付者の認証](#)

寄付状況

2017年3月末現在

年次基金

日本 \$ 10,586,607

世界 \$ 90,039,636

恒久基金

日本 \$ 1,561,324

世界 \$ 18,754,349

寄付総額 世界上位3ヶ国

2017年4月26日現在

アメリカ \$ 128,738,623

韓国 \$ 15,779,689

日本 \$ 14,333,001

日本の状況

冠名基金数 143

※地区、クラブが設立した冠名基金含む

PHS会員数 678

目標(世界) 2016-17年度

・全体:3億ドル

・年次基金:1億5,000万ドル

・ポリオプラス基金(現金):3,500万ドル

・ポリオプラス基金(DDF他):1,000万ドル

・恒久基金:2025年までに20億2,500万ドル

・ロータリー平和センター大口寄付推進計画:

2017年6月30日までに、1億5,000万ドル

目標(日本)

・年次基金:一人当たり150ドル

・ポリオプラス:一人当たり30ドル

・恒久基金:各クラブでベネファクターまたは遺贈友の会会員を1名増やす

寄付目標入力:

[ロータリークラブ・セントラル](#)



ポリオプラス

【ロータリーが発症数「ゼロ」の後も資金を投入し続ける理由】

ポリオを永遠になくすために必要なステップには、検知、予防接種、撲滅があります。検知は、ポリオを撲滅する戦いの最も重要な側面の1つです。これは複雑で費用がかさみ、継続的にサーベイランス(監視活動)が必要です。世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)は約72カ国で監視活動を行っています。

また、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンだけでなく、他の国でも継続して予防接種することが重要です。予防接種プログラムが成功している場所では、予防接種を受けることが出来なかった少数の子どもを見つけだし、接種することが課題です。

そして、ポリオの最後の症例が確認されるのが今年であったとしても、完全に撲滅するまで、少なくとも3年間は子どもたちに接種し続けなければならず、ワクチン自体を変更する必要があります。 [記事はこちら](#)

【野生株によるポリオ症例数】

[掲載サイト:GPEIウェブサイト\(英語\)](#)

ポリオ	国	2017年1月1日 ～4月25日	2016年 (通年)	2015年 (通年)
常在国	パキスタン	2	20	54
	アフガニスタン	3	13	20
	ナイジェリア	0	4	0
常在国 以外	赤道ギニア	0	0	0
	イラク	0	0	0
	カメルーン	0	0	0
	シリア	0	0	0
	エチオピア	0	0	0
	ソマリア	0	0	0
	世界合計	5	37	74

ロータリー平和センター



【申請締め切り迫る】

ロータリー平和フェローシップの候補者が、推薦書や成績証明書などの書類がそろった申請書を、オンラインで地区に提出する締め切りは、5月31日です。推薦書には、推薦者がオンライン上で直接入力するため、早めのご依頼が必要です。

また、クラブの推薦を受ける場合も、同様に申請書内にオンライン上で推薦書の入力をします。地区に提出する前の書類となりますので、面接のタイミングなどにご留意ください。

- ・ロータリー平和フェローシップへの申請に関するウェブページは、[こちら](#)
- ・ロータリー平和フェローシップ申請に関する説明(PDF)は、[こちら](#)
- ・[ロータリー平和フェローシップ:申請についてよくある質問](#) (英語)
- ・[効果的な申請書を書くためのヒント](#) (英語)

リソース

<My ROTARY>

[Rotary.org利用にあたってのリソース](#)

[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)

[ブランドリソースセンター](#)

[ロータリーの日本語フェイスブック](#)

[Rotary Voice ブログ](#)

[財務報告](#)

[組織規定](#)

[管理委員会の決定](#)

[ロータリー財団100周年PHS認証状態](#)

[プレート](#)

<資料>

[2014-15年度年次報告](#)

[2015-16年度年次報告](#)

[2016年携帯用カード](#)

[ロータリー財団参照ガイド](#)

[地区ロータリー財団委員会要覧](#)

[地区ロータリー財団セミナーの手引 \(zip\)](#)

[寄付・認証 ロータリークラブの手引き](#)

[ウェビナー「クラブのためのよくわかる寄](#)

[付と認証」\(ppt\)](#)

<寄付に関するレポート>

<https://www.rotary.org/>からMy

Rotaryにログインし、役職に応じてデータを閲覧できます。

[クラブと地区の運営](#)

● ポリオプラスに関するレポート

● クラブ認証概要レポート(CRS)

● 月次寄付レポート(MCR)

● 寄付者履歴レポート

● バナーレポート

● メジャードナー/アーチC.クランフ・ソ

サエティ/遺贈友の会レポートなど

2016-17年度
年次基金寄付ゼロクラブ状況
185クラブ

2017年4月25日現在、34地区中、年次基金へ寄付をしていないクラブ数です。

補助金

【資料の更新】

- 「ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金 授与と受諾の条件」が3月に更新されました。グローバル補助金の受領資格や、制約事項など更新されておりますので、必ずご確認をお願いいたします。
[ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金 授与と受諾の条件](#)
- 「補助金センターのご利用ガイド」が更新されました。グローバル補助金と地区補助金の申請方法、報告方法などを、実際の画面の様子と併せて掲載しております。
[補助金センターのご利用ガイド](#)
- グローバル補助金を利用して、低廉簡易住宅または簡易校舎の建設を含むプロジェクトを計画されている方は、こちらの資料をご参照ください。申請時に添付する追加情報のフォームや詳細も含まれています。
[低廉簡易住宅の建設](#) [簡易校舎の建設](#)

補助金センター入力のヒント！

エラーや入力項目の表示がおかしい場合、以下の3つをお試ください。

- インターネットの履歴を削除する
- 英語に切り替える（奨学生の「プロジェクトの成果」欄など入力不要な箇所が消えます）
- ロックできない場合、見落としが多いのは、ファイルの添付漏れです。協力団体のMOUや旅行者のプロフィールなどが、クリップのマークのところに添付されているかをご確認ください。

【グローバル補助金-奨学金-提出締め切り】

2017-18年度の夏から秋に留学を開始するグローバル補助金-奨学生の申請書は、出発の90日前で、遅くとも6月30日までに提出ください。

例えば、8月20日に開始ならば、90日前の5月22日までに提出
10月10日に開始でも、年度内の6月30日までに提出

【グローバル補助金奨学金-補助金担当職員のサポート】

- 受入地区との連絡
メールを送った後、2週間過ぎても返事が来ない場合は、再度連絡する際に、補助金担当職員をメールのCCに入れて、お知らせください。
- 依頼メールのサンプル
必要な場合は、お知らせください。英語以外もあります。
- 事前チェックの依頼
 - 受入地区やクラブを探す前に、奨学生の専攻が重点分野の研究とみなされるかどうか確認することができます。
 - このリクエストは、[グローバル補助金候補者のテンプレート](#)にご記入の上、補助金担当職員にお送りください。履修コースはリンクではなく、リストアップして下さるようお願いいたします。
 - 英語でご記入いただくと回答が早いです。
- 受入地区の確認
教育機関の地区や連絡先がわからない場合は、次ページにご紹介する方法のほか、事前チェックの際にお尋ねいただくこともできます。

奨学金の[補助金担当職員](#)は、派遣地区の職員となります。

ゾーン1:Cecelia Walter cecelia.walter@rotary.org

ゾーン2・3:Steve Sundstrom steven.sundstrom@rotary.org

リソース

＜資料＞

[寄付者の認証](#)
[税制上の優遇措置](#)
[オンラインでの寄付](#)
[認証ポイントについて](#)
[認証ポイント使用申請書](#)
[ポール・ハリス・ソサエティ](#)
[ポール・ハリス・ソサエティ パンフレット](#)
[ポール・ハリス・ソサエティ入会フォーム](#)

ポリオ撲滅

[子供たちにポリオのない世界を](#)

2016-17年度会長賞

地区財団活動資金（DDF）の寄贈：

ポリオにDDFを寄贈されますと国際財団活動資金（WF）から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。

例：DDF2+WF1+ゲイツ6=9

- [2016-17年度DDF寄贈書式](#)
- [2017-18年度DDF寄贈書式](#)
- [地区で利用可能なDDFの確認](#)

※ポリオプラスへ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブには、次年度に感謝状が贈られます。また、DDFの20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区は、次年度に表彰状が贈られます。

【寄付目標への進捗】

歴史的な節目となるこの年度、ロータリー財団では、年次基金、恒久基金、ポリオプラス基金への寄付の合計目標を3億ドルとしました。

詳細は[こちら](#)

募金目標に向けた進捗



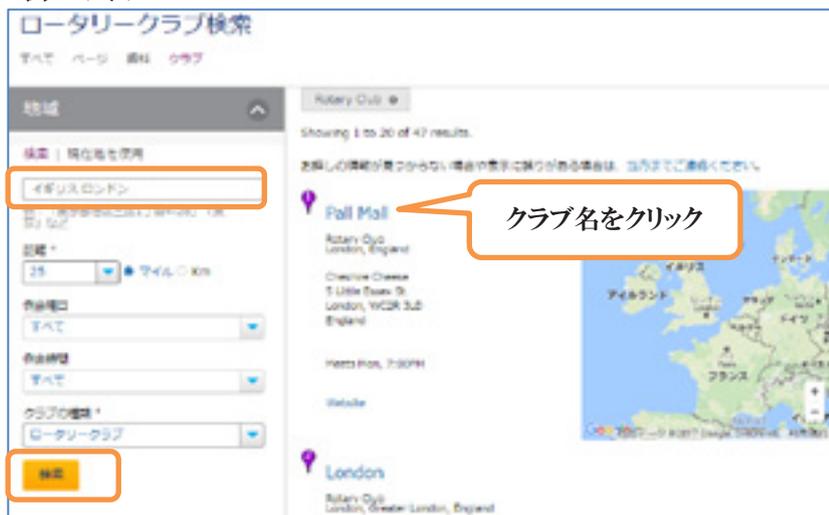
【奨学金の受け入れ地区やクラブを探すには】

1. 留学先の教育機関のある地区を特定する

奨学生本人に教育機関の住所から、クラブ検索で地区を特定してもらうようお願いいたします。

①ロータリークラブ検索 <https://my.rotary.org/ja/search/club-finder> で地名などを入力して<検索>します。

例:ロンドン



②<検索>結果で表示された場所をご確認の上、クラブ名をクリックします。次のような詳細が表示されます。地区番号をご確認ください。



2. 受入地区に連絡を取る。

派遣地区から、該当地区の奨学金委員長や地区財団委員長にご連絡ください。連絡先は、委員長のリストをご参照ください。*

[地区ロータリー財団委員長のリスト](#)

[地区奨学金小委員会委員長のリスト](#)

※第1130地区の奨学金委員長が、Mr. Grahame Williams (grahamyra@btinternet.com)に変更されました。リンク先のリストはまだ更新されていませんのでご注意ください。

リソース

<補助金>

[地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件](#)

[グローバル補助金ガイド](#)

[重点分野の基本方針](#)

[モニタリングと評価の計画について](#)

[地域調査の方法](#)

[経済と地域社会の発展プロジェクト戦略](#)

[基本的教育と識字率向上プロジェクト戦略](#)

[補助金を申請する](#)

[グローバル補助金 計算表](#)

[グローバル補助金 研修計画](#)

[補助金による旅行](#)

[旅行禁止国のリスト](#)

<連絡先>

[補助金担当者一覧](#)

[重点分野担当マネージャーの連絡先](#)

[公式名簿](#)

[地区ロータリー財団委員長のリスト](#)

[地区補助金小委員会委員長のリスト](#)

[地区奨学金小委員会委員長のリスト](#)

[地区VTT小委員会委員長のリスト](#)

<オンライン手順>

[補助金センターのご利用ガイド](#)

<資格認定>

[地区の覚書\(MOU\)](#)

[クラブの覚書\(MOU\)](#)

[クラブの覚書\(MOU\)の実施に関する指針](#)

[クラブの覚書\(MOU\)ワークシート](#)

[クラブの参加資格認定 よくある質問](#)

<プロジェクトのヒント>

[ロータリー奉仕コネクション](#)

[プロジェクトライフサイクル](#)

[プロジェクトの閲覧](#)

[ロータリーショーケース](#)

<奨学金>

[奨学金の提供](#)

[ロータリー平和フェローシップ](#)

[ロータリーの学友](#)

[グローバル補助金候補者のテンプレート](#)

【参加資格認定】

地区がロータリー財団の補助金を申請するには、ロータリー財団から参加資格の認定を受ける必要があります。また、グローバル補助金を申請するクラブも、地区から認定を受ける必要があります。

地区とクラブは、この認定手続きを通じて、財務管理面での義務について理解し、これを適切に果たすための準備を整えます。認定手続きは毎年行う必要があります。

地区の参加資格認定 (5月から手続きを開始できます。)

2017-18年度地区ガバナー、ガバナーエレクト、地区ロータリー財団委員長が、My ROTARYの「[補助金センター](#)」にて手続きを行います。「地区の参加資格認定」をクリックすると、「地区の覚書(MOU)」の内容がステップごとに表示され、順番に読み進めていく流れとなっています。最終ページで「MOUに同意」して、手続きは完了です。

※任期中1度手続きをすれば継続されます。

※地区は、クラブを対象とした補助金管理セミナーを実施することとなります。



クラブの参加資格認定

グローバル補助金の申請に先立って、クラブが地区から認定を受けるため、会長と会長エレクトが以下を行う必要があります。

- 「クラブの覚書(MOU)」に同意する。
- 地区が実施する補助金管理セミナーに、クラブから少なくとも1名の会員が出席する。
- 地区が独自に定めたそのほかの要件を満たす。

関連資料

- [参加資格の認定](#)
- [地区の覚書\(MOU\)](#)
- [地区を成功に導くリーダーシップ: ロータリー財団 委員会編](#)
- [クラブの覚書\(MOU\)](#)
- [クラブの覚書\(MOU\)の実施に関する指針](#)
- [「クラブの覚書」ワークシートとよくある質問](#)
- [グローバル補助金 ガイド](#)

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付)

大きなご支援を
誠にありがとうございました

<視聴覚資料>

- [ウェビナー](#)
 - [ウェビナー「クラブのためのよくわかる寄付と認証」](#)
 - [ブランドリソースセンターロータリーの動画ページ](#)
 - [ロータリーのビデオ](#) (日本語)
 - [VIMEO](#)で検索 ※こちらはロータリーのウェブサイトではありませんので検索語にRotaryを入れます。登録しなくても検索・視聴はできます。
- 検索例: Rotary VTT

2017年3月22日～2017年4月26日 確認分			(敬称略)		
地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2770	八潮	田中 作次	2770	浦和東	北 清治
2710	徳山	石川 良興	2750	東京白金	舟木 いさ子
2710	徳山東	伊賀 訓之	2760	名古屋東山	金田 英和
2750	東京中央	大槻 哲也			
計	7名		※日付順		

注: オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

ロータリーカード・ゾーンコーディネーターからのお知らせ

2016-17年度ロータリーカード・ゾーンコーディネーター

第一ゾーン 佐原 元

第二ゾーン 関 博子

第三ゾーン 山下 皓三

このたび、クラブカード(ダイナースコーポレートカード)に加えて、「ロータリー個人カード(ダイナースクラブ)」が誕生しました。下記、ダイナースクラブからの記事をご覧ください。

【ロータリーカード(ダイナースクラブ個人用)誕生!】

ご高尚のとおり、2015年12月からパイロットプログラムとしてご案内しているクラブカード(ダイナースコーポレートカード)は、地区やクラブ、地区委員会で幅広くご利用いただいています。多数の地区大会やクラブ例会の費用のお支払など、ご利用総額は1億7千万円を超えました。効率的な経費のお支払いに加え、ご利用額の0.3%がポリオ撲滅の活動支援金として還元される優れた仕組みです。

このクラブカードに続き、このたび「ロータリー個人カード(ダイナースクラブ)」が誕生しました。クラブカード同様にご利用額の0.3%が還元されます。さらに、皆様の事業経費のお支払にもご利用いただけるカードもご用意しています。詳しくは[こちら](#)からご参照ください。



クラブカード



個人用カード

ロータリー財団100周年

今年度は、ロータリー財団100周年です。

私たちの財団は、きれいな水の提供、疾病との闘い、平和の推進、基本的教育の提供、世界的なポリオ撲滅活動など、多くのプロジェクトを通じて人道奉仕の最前線に立ってきました。



- [ロータリー財団100周年特設サイト](#)
- [財団100周年の推進用リソース\(WEBページ\)](#)
- [財団100周年のロゴとガイドライン\(ZIPファイル\)](#)
- [推進用ビデオ](#)
- [財団100周年の推進キット\(ZIPファイル\)](#)
- [ロータリー財団の歴史\(WEBページ\)](#)
- ロータリー財団100年誌
- 財団100周年記念コイン型キーホルダー(10ドル)
(100年誌とキーホルダーのご注文は、[日本事務局業務推進・資料室 rijpnpi@rotary.org](#)までご連絡ください。)



今後の予定

6月10日 -14日	国際大会(アトランタ)
10月24日	世界ポリオデー
11月20日 21日 22-23日	ロータリー財団地域セミナー メジャードナー午餐会 ロータリー研究会

国際ロータリー日本事務局財団室

清水優季

Yuki.Shimizu@rotary.org

山本律子

Ritsuko.Yamamoto@rotary.org

縄田 怜

Satoru.Nawata@rotary.org

望月彩乃

Avano.Mochizuki@rotary.org

〒108-0073

東京都港区三田1-4-28

三田国際ビル24階

Tel:03-5439-5805

Fax:03-5439-0405

アトランタ国際大会関連ページ

- ロータリー国際大会トップページ
<http://www.riconvention.org/ja/atlanta/register>
- 国際大会でのイベントについて
<http://www.riconvention.org/ja/atlanta/events>



ロータリー財団 2016-17年度 3月末 地区別寄付報告 (単位:米ドル)

地区	会員数	年次基金 地区目標	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオプラス	その他の基金	恒久基金	合計寄付額	同時期 前年度比				
									年次基金	ポリオ プラス	その他の 基金	恒久基金	合計
2500	2,261	85,100.00	81.58	184,460.38	15,115.34	4,200.00	8,000.00	211,775.72	120.69%	72.80%	-	197.94%	119.21%
2510	2,536	240,497.00	99.95	253,474.80	32,679.85	5,040.00	2,000.00	293,194.65	112.52%	107.26%	-	-	114.65%
2520	2,264	47,450.00	82.09	185,855.98	20,651.54	1,750.35	13,000.00	221,257.87	140.49%	101.39%	-	49.73%	123.75%
2530	2,371	152,120.00	65.44	155,155.43	28,164.45	0.00	24,274.51	207,594.39	97.08%	328.73%	0.00%	297.03%	117.51%
2540	1,122	53,195.00	60.56	67,945.07	4,112.05	0.00	7,500.00	79,557.12	118.35%	253.76%	0.00%	750.00%	130.36%
2550	1,705	57,750.00	125.24	213,531.74	14,709.82	2,100.18	9,997.55	240,339.29	96.62%	65.93%	-	140.70%	95.97%
2560	2,094	133,479.00	133.48	279,506.35	23,788.58	1,050.00	5,078.43	309,423.36	126.19%	202.99%	20.00%	48.37%	124.28%
2570	1,606	90,720.00	129.66	208,241.67	41,839.03	0.00	29,703.93	279,784.63	100.98%	99.81%	0.00%	92.69%	97.66%
2580	3,017	382,450.00	147.55	445,154.43	49,981.41	5,367.64	68,566.26	569,069.74	124.48%	183.32%	255.60%	256.16%	137.55%
2590	2,050	271,561.00	142.58	292,287.27	67,152.90	0.00	99,000.00	458,440.17	103.18%	82.62%	-	185.92%	109.73%
2600	1,957	239,863.00	157.41	308,059.84	55,522.38	258.62	19,421.28	383,262.12	156.90%	470.35%	-	125.14%	171.36%
2610	2,615	279,020.00	109.93	287,468.39	6,617.63	0.00	6,000.00	300,086.02	143.33%	467.95%	-	200.00%	146.40%
2620	2,954	285,407.00	123.70	365,415.57	34,345.21	16,275.00	60,153.94	476,189.72	95.07%	79.87%	1550.00%	166.63%	102.51%
2630	3,075	390,820.00	125.80	386,839.92	29,553.97	7,910.04	20,600.00	444,903.93	108.24%	173.92%	791.00%	103.09%	112.53%
2640	1,865	52,600.00	101.75	189,756.98	13,696.56	0.00	7,402.45	210,855.99	85.36%	35.27%	0.00%	18.61%	69.84%
2650	4,588	308,734.00	157.75	723,779.25	74,067.09	4,286.21	107,746.40	909,878.95	109.21%	100.48%	408.21%	106.77%	108.52%
2660	3,576	314,948.00	154.69	553,154.17	186,928.52	53,026.07	81,300.00	874,408.76	111.90%	159.88%	181.60%	193.81%	128.14%
2670	2,951	134,727.00	88.28	260,527.91	42,045.55	1,680.00	86.21	304,339.67	108.12%	86.67%	-	8.26%	104.76%
2680	2,831	315,563.00	117.55	332,789.95	38,835.51	13,973.40	64,800.00	450,398.86	143.57%	141.22%	153.55%	1599.32%	165.32%
2690	3,050	317,880.00	129.53	395,073.86	139,717.82	6,300.00	95,002.00	636,093.68	98.41%	129.46%	600.00%	231.71%	115.35%
2700	3,118	201,504.00	89.12	277,890.50	46,145.62	6,300.00	0.00	330,336.12	236.81%	131.67%	-	0.00%	215.34%
2710	3,282	328,750.00	127.10	417,151.74	80,378.10	0.00	68,094.94	565,624.78	116.44%	108.73%	-	107.40%	114.13%
2720	2,355	22,500.00	94.70	223,008.96	15,529.06	0.00	65,080.00	303,618.02	124.98%	140.89%	0.00%	424.76%	144.56%
2730	2,336	81,235.00	70.16	163,897.45	14,342.76	0.00	4,220.00	182,460.21	121.92%	121.80%	-	95.05%	121.12%
2740	2,206	147,522.00	58.70	129,490.36	16,632.67	0.00	18,300.00	164,423.03	122.19%	170.10%	-	300.82%	134.96%
2750	4,805	640,297.00	149.32	717,473.04	159,480.96	12,621.55	283,765.47	1,173,341.02	107.22%	149.35%	17.62%	307.86%	124.85%
2760	4,743	669,879.00	159.11	754,656.07	21,403.48	0.00	69,459.79	845,519.34	119.51%	67.24%	-	151.52%	119.23%
2770	2,554	233,338.00	167.10	426,780.27	107,696.19	19,850.40	154,940.81	709,267.67	98.45%	112.07%	650.47%	83.72%	98.83%
2780	2,308	397,845.00	152.98	353,066.71	73,969.44	46,150.00	48,378.23	521,564.38	121.36%	101.80%	-	91.34%	125.21%
2790	2,732	196,541.00	99.17	270,919.81	35,588.76	0.00	51,200.00	357,708.57	107.52%	189.99%	0.00%	103.22%	110.98%
2800	1,622	64,600.00	101.12	164,021.95	6,624.05	0.00	7,500.00	178,146.00	134.49%	6624.05%	-	300.00%	143.02%
2820	1,939	242,990.00	146.02	283,125.50	41,868.89	2,625.00	46,800.00	374,419.39	106.41%	107.50%	83.33%	112.38%	107.04%
2830	1,173	71,197.00	82.26	96,495.94	16,076.41	0.00	1,843.17	114,415.52	128.46%	84.48%	-	59.49%	117.66%
2840	2,058	232,430.00	106.97	220,149.75	40,576.68	0.00	12,109.12	272,835.55	98.58%	125.91%	0.00%	84.78%	100.92%
日本	87,719	7,684,512.00	120.69	10,586,607.01	1,595,838.28	210,764.46	1,561,324.49	13,954,534.24	114.23%	121.74%	146.54%	148.73%	118.54%
世界	1,207,906	75,101,521.00	74.54	90,039,636.30	19,635,090.76	9,315,239.57	18,754,349.28	137,744,315.91	109.73%	112.80%	93.07%	151.87%	113.07%
日本の割合	7.32%	10.23%	-	11.76%	8.13%	2.26%	8.33%	10.13%					



ハイライトよねやま 205

2017年4月11日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 2016-17年度も残り3カ月 —

3月までの寄付金は前年同期と比べて6.6%減（普通寄付金0.7%増、特別寄付金10.3%減）、約8千万円の減少となりました。過去2年間、大口寄付が続いたため、今年度の寄付金はかなり減少しているように見えますが、7月～3月の累計額は、2010年度以降の同時期の平均額よりも上回っています。残りの約3カ月は、特別寄付金が主な寄付金収入となります。引き続き、米山記念奨学事業へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

さまざまな寄付のカタチ — 学友からの遺言寄付 —



遺言によって、指定した個人や団体へ指定した資産を残すことを「遺贈」といいます。当会では2000年度から、遺贈によるご寄付に対応するため「遺言寄付制度」を設けて、事業へご賛同いただける方のご意志を募っています。大阪在住の米山学友で、元関西米山学友会会長の林小微さん（台湾／1983-84／和歌山東RC）は、2009年1月、学友として初めて遺言寄付を申請してくださいました。そして、今年3月に事務局を再訪し、2回目の遺言寄付を申請されました。

最初の申請の際は、寄付の事例として紹介することを固辞された林さんですが、今回は、「学友にもこのような制度があることを知ってほしい」との思いから、紹介することを了承してくださいました。

🐦 林さんからのメッセージ

奨学会からの資料を見て「遺言寄付」という制度があることを知りました。2008年に学友会の用事で米山事務局を訪問したついでに、学友はできないのか聞いてみたところ、「できるが、まだ例はない」とのことでしたので、「では、その第一号になりましょう」と申し出ました。主人の了解も得られたので、遺言寄付の申込書を提出し、今回は二度目の申込みをしました。これで頂いた奨学金に対して、ご恩の「倍返し」ができました。これから「10倍返し」できるよう、長生きしながら頑張りたいと思います。

2017学年度新奨学生オリエンテーションがスタート

2017学年度の奨学生は795人となりました。新規採用者が615人、継続者が180人です（4月10日現在）。国・地域別にみると、中国が39.5%、次いでベトナム13.8%、韓国11.9%、台湾5.0%の順となっています。ベトナムは2009学年度以降、台湾を抜いて3番目に奨学生数の多い国として著しく増加していましたが、今年は、韓国を抜いて2番目に多い割合を占めています。プログラム別では、学部・修士・博士課程ロータリー米山記念奨学金が747人（学部課程：292人、修士課程：265人、博士課程：190人）、地区奨励奨学金15人、クラブ支援奨学金2人、海外学友会推薦奨学金6人、海外応募者対象奨学金25人となっています。

4月～5月にかけて各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは初めて学生とカウンセラーが会う場であり、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かくお迎えください。ようよろしくお願いいたします。

タイ米山学友会が創立 5 周年の総会を開催

タイ米山学友会の年次総会が 3 月 18 日、バンコク市内で開かれました。前国王の喪に当たり非公開での開催でしたが、学友 21 人とその家族のほか、学友会と親交のあるタイ、日本のロータリアンも出席し、総勢 41 人の親睦の集いとなりました。

2012 年の学友会創立を支援し、毎年の総会に欠かさず出席しているピチャイ・ラタクル元国際ロータリー会長からは、「皆の活動は、間違いなく日タイの友好



関係につながっています。米山梅吉翁の期待通りに社会貢献に励む姿に感心し、誇りに思います。これからも同じ考えの学友を増やして集い、良い活動が続けられるよう応援しています」との温かい言葉が送られました。シュティカーン・テプサン会長は「今後も皆さまの励ましのもとに、学友の皆と一緒に頑張っていきたい」と、力強く語りました。総会後は、全員で食事を楽しみながら、各国の学友会訪問時に贈られた記念品や学友からの提供品などのオークションが行われ、盛り上がりました。売上金はすべてニコニコボックスに納められ、次の社会貢献活動に活用される予定です。

地区研修・協議会用に米山の資料をお送りします

地区研修・協議会でお使いいただける米山記念奨学会の資料を、3 月 23 日～4 月中旬にかけて全地区へ発送しました。今年が目玉は、この 3 月に完成したばかりの人気シリーズ、『米山学友の群像 vol.5』！さまざまな分野で活躍する学友が目白押しです。ぜひご活用ください。

< 下記資料をお送りしています >

- ・豆辞典（クラブ数×1部+予備 20 部）
- ・米山学友の群像 vol.5（同上）
- ・クラブ米山奨学委員長の手引き（同上）
- ・DVD「ひろがれ！人づくりの輪」（説明者用 1 部）
- ・「米山記念奨学会DVDシリーズのご紹介」チラシ／申込書（説明者用 1 枚）



モンゴル米山学友会 総会のご案内

日時：2017 年 5 月 14 日（日）10:00～
会場：ウランバートル市 TUUSHIN ホテル
連絡先：nbolormaa211@gmail.com（幹事：ボロルマー）
※なお今年は、初代会長ジャンチブ・ガルバドラッハさんが所属するフレール C（第 3450 地区）創立 15 周年記念式典が、前日の 13 日（土）に開催されます。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281

E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

風の便り

Vol.2 No.13(通刊34号)

2017年3月の実績です。

2016～2017年度 前3カ月の動き

3月31日現在の収支計算

		1 末月累計	2 月末実績	3 月末実績
前月繰越金		469,252,444	463,909,915	460,634,499
収入の部	支援金	1,273,842	3,338,822	4,684,770
	雑収入	0	294	0
収入合計		470,526,286	467,249,031	465,319,269
支出の部	奨学金	6,660,000	6,600,000	6,600,000
	振込手数料	0	0	0
	設備費	0	0	0
	通信費	16,371	14,532	31,117
	手数料	0	0	0
	消耗品費	0	0	39,165
	会議費	0	0	0
	備品費	0	0	0
	雑費	0	0	0
支出合計		6,616,371	6,614,532	6,670,282
次月繰越金		463,909,915	460,634,499	458,648,987

3月度地区別実績

2540 地区	1 件	20,000 円	2630 地区	1 件	1,000,000 円
2570 地区	4 件	403,225 円	2720 地区	1 件	1,000,000 円
2580 地区	9 件	1,794,000 円			
2590 地区	2 件	467,545 円			

※ 地区、クラブ、支援者名はホームページをご覧ください

奨学生の状況(単位：人数)

累計	現在	年度	前期継続	新規	復学	退学	休学	留年	卒業	次期継続
273	87	132	128	4	0	0	0	0	45(2)	—

プログラム開始以降の累計支給者(273名)の項目を新設しました。
前期からの継続者が128名、新規給付者4名、退学者が0名です。

3月の支給者は132名でした。

卒業45名となっていますが、3月終了者2名を含みます。

注)3月終了者とは、休学後、復学したが累計給付期間が満了となった者1名と

6年制大学で4年が修了した者1名が含まれています。

4月からの新規給付予定者は56名となっています。

文責：委員長/地葉新司/2010-2011PG/湯上 RC)

2017/04/07

■ 会員基盤向上に資する「ロータリー公共イメージ向上」について

さる3月27,28の両日東京で開催されたRI第1,2,3ゾーン会員基盤向上セミナーでは標記演題について各地の公共イメージコーディネーター関係者 数名がそれぞれの切り口から持論を大変熱く語られ、とても印象的で貴重な時間を過ごすことが出来た。RIはロータリー発展のため戦略計画を大々的に取り入れるよう推奨し、その束ねた3本の矢の内の一つである公共イメージ向上も特別に力を入れている。戦略計画の最終ゴールは何よりもクラブの発展、そして会員増強であり、その為のイメージ向上は必須であり、それを活かさねばならないと説いている。

112年前シカゴの街で4人の青年実業家が集まりロータリークラブを創立し、それが現在会員数120万人を超える世界的巨大組織に成長した。その要因はロータリーが常に内外への広報宣伝活動を効果的に継続して来たこと、そしてどの時代にもロータリー会員自ら日頃の理念に沿った職業奉仕を行い、世界中の各クラブが長年実施して来た質の高い奉仕活動を地域が世界が認知して来たからではないか。ここで先日のセミナーでの発表を参考にしながら今後の広報展開を如何になすべきかを考えてみたい。

・地区レベルで、

地区はクラブにロータリーのイメージ向上に繋がる情報を提供すべきである。例えばクラブ奉仕活動への取材活動を地区が代わってマスコミに申し入れる、クラブセントラルから情報収集を奨励する、地区へのBox投稿依頼を強く勧めている。特にIT、中でも各種SNSを駆使した映像による積極的発表、投稿は若い世代に強くアピールするだろう。一例として、第2670地区前田直俊ガバナー監修によるアニメ「おしえてロータリー」は日本語、英語版があり、FB、YouTube、DVD等を通して誰でも鑑賞可能。これらは広く地域社会でロータリーの啓発活動や、ロータリークラブ新入会員の研修にも役立つすぐれた教材である。(第1図参照)

・クラブレベルで、

会員が汗を流し、地域のために良い事をした事実をマスコミが取材し、のちにマスメディアに載ることはとても立派な業績であり、ロータリーを社会に理解して貰える千載一遇の良い機会です。ここに第2690地区玉島RCと米子4RCの奉仕活動が新聞記事になった例を紹介する。なお、この記事は現在RIのBoxに収めてあります。各クラブでとても簡単に操作できるBoxを利用し、活用して下さい。(第2図・第3図参照)

・ロータリアン個人レベルで、

忘れてならないのは、会員各自が果たして来た長年の「くちコミ作戦」と真摯な奉仕活動こそロータリー発展の最大貢献者であり、今後戦略計画実施への大きなヒントになると確信する。色々な意味で直接対面での意思疎通は何事にも変えがたいお金のかけられない広報宣伝戦略であろう。(第3ゾーンARPIC 伊藤文利 倉吉RC)

■ クラブ数 会員数

Zone 1	829	28,680
Zone 2	652	28,158
Zone 3	790	32,745
合計	2271	89,583

2017年4月10日現在のClub Centralのデータです。第2ゾーンの数値にはGUAM, MICRONESIA, NORTH ERN MARIANS, PALAUが含まれます。

■ BOX登録件数

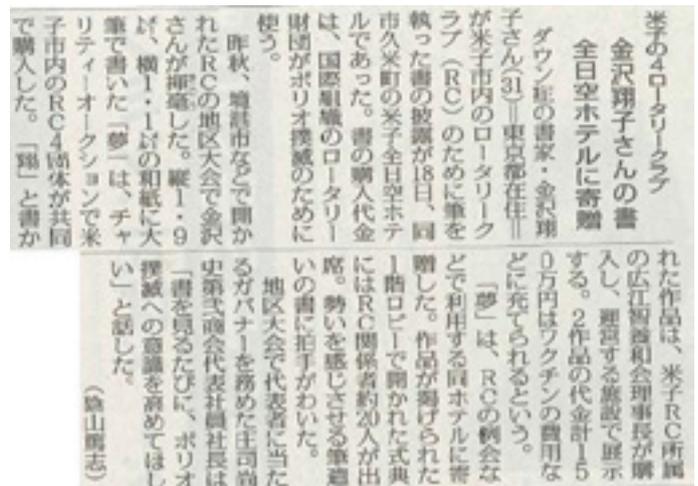
187件(1.2.3ゾーン合計)
2017年4月10日現在



第1図



第2図



第3図

この書は第2690地区米子市内4RCが市民に未永く鑑賞してもらうために共同購入したものである。





「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

- ◎「ロータリーと茶の心」 千 玄室/D.2690地区大会記念誌/2017/4p
- ◎「日本ロータリーの昔話4～7」 深川純一/伊丹R.C./純ちゃんのコーナーPartXV/2016/4p
- ◎「日本のロータリアンの使命」 塚原房樹/D.2510/2016/2p
- ◎「ロータリー会員から真のロータリアンへの進化」 三木 明/D.2680/2016/1p
- ◎「ロータリアンにとって『職業奉仕』とは」 藤林豊明/D.2580地区大会記念誌/2016/2p
- ◎「ロータリーの魅力とは何だろう」 富田英壽/D.2700/2017/2p
- ◎「RIの向かっている道(三つの側面を通して)」 桑月 心/D.2630/2017/2p
- ◎「今までの100年・そして現在」 久世晴雅/D.2680地区大会記録誌/2016/4p
- ◎「会員を引き込む」 RI日本支部/RI参加者テキスト/2015/3p
- ◎「ロータリー財団を正しく理解する」 鈴木一作/2016/5p

上記申込先:ロータリー文庫

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階 TEL/(03)3433-6456 FAX/(03)3459-7506
 開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

米山梅吉記念館便り

シリーズ⑨ 米山梅吉の横顔

米山梅吉の青山学院への奉仕は大正5年頃には既に見られますが、何と云っても青山学院初等科の創立で、米山の、整備拡充よりも初等教育の充実を重視する教育論の実践でした。昭和12年に竣工した校舎は全額私財を投じて建設されたもので一切の寄付は仰ぎませんでした。学院が直営の予定でしたが許可が難航し、青山学院小学財団を設立、同財団立「緑岡小学校」として発足しました。男女25名づつが入学し、初代校長は米山でした。経営方針は7条あって、「学校後援会、保護者会等の支援団体は認めない」「児童の教育は学校の手によって行う。学校を信じて委されたい」「人にされて嬉しかったことを人にもせよ」等でした。



青山学院緑岡初等学校正門と校舎



記念館の月桂樹前にポール・ハリス植樹レリーフを設置
 昭和10年来日の折、ポール・ハリスが月桂樹を帝国ホテル前庭にお手植えし、記念館にはその2世が植えられています。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
 TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
 URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
 Email:yumh@ai.tnc.ne.jp

【開館時間】午前10時～午後4時
 【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)

米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌
 本文268ページ/2,500円

米山梅吉の足音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。

資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。





会員数及び出席報告 (2017年3月末)

	クラブ名	会員数			当月女性	入会		退会		例 会 数	3月 出席率	
		2016年 7月1日	2016年 7/1女性	2017年 3月末日		3月	累計	3月	累計			
南尾張分区	半田	61	4	62	4	0	2	0	1	3	99.33%	
	常滑	41	0	43	0	0	3	0	1	4	93.49%	
	東海	57	3	57	3	0	2	2	2	5	96.73%	
	東知多	23	1	23	1	0	1	0	1	5	85.22%	
	半田南	33	1	33	1	0	1	0	1	4	95.69%	
	知多	24	1	24	1	0	0	0	0	3	84.82%	
	大府	19	0	21	0	0	2	0	0	5	70.82%	
	7RC	258	10	263	10	0	11	2	6	9	89.44%	
西尾張分区	一宮	102	2	104	2	1	7	0	5	4	97.52%	
	津島	66	4	67	4	0	2	0	1	5	97.17%	
	尾西	21	1	21	1	0	1	0	1	3	92.06%	
	一宮北	39	3	40	3	0	1	0	0	4	91.93%	
	稲沢	46	1	46	1	0	3	0	3	4	87.83%	
	あま	78	1	77	2	0	3	1	4	3	100.00%	
	名古屋清須	32	2	32	2	0	0	0	0	4	86.54%	
	尾張中央	30	0	31	0	0	1	0	0	4	91.60%	
	一宮中央	43	6	45	6	0	2	0	0	4	91.62%	
		9RC	457	20	463	21	1	20	1	14	9	92.92%
東尾張分区	瀬戸	60	4	60	4	0	2	0	2	4	99.12%	
	犬山	60	0	57	0	0	2	2	5	4	100.00%	
	江南	50	0	47	0	0	0	0	3	4	92.13%	
	小牧	30	2	34	2	0	4	0	0	4	87.19%	
	春日井	61	2	58	2	0	0	1	3	5	94.77%	
	尾張旭	20	1	21	2	0	1	0	0	5	97.14%	
	名古屋空港	50	1	53	1	0	4	0	1	3	98.64%	
	瀬戸北	56	7	57	7	0	1	0	0	3	100.00%	
	岩倉	13	1	12	1	0	1	0	2	4	93.75%	
	名古屋城北	25	4	24	4	0	0	0	1	3	95.30%	
	愛知長久手	19	5	19	5	0	1	1	1	2	86.84%	
	愛知-Eクラブ	22	5	22	5	0	1	0	1	5	80.00%	
		12RC	466	32	464	33	0	17	4	19	9	93.74%
	西名古屋分区	名古屋	176	0	180	0	1	17	8	13	4	87.66%
		名古屋西	100	0	98	0	0	6	5	8	5	80.75%
名古屋南		110	0	108	0	0	3	2	5	5	97.52%	
名古屋みなと		69	0	67	0	0	1	1	3	4	100.00%	
名古屋東南		79	7	81	8	0	5	2	3	5	85.19%	
名古屋中		132	0	135	0	0	6	1	3	3	100.00%	
名古屋瑞穂		65	0	65	0	0	4	0	4	4	97.81%	
名古屋大須		54	4	58	5	1	6	0	2	5	91.24%	
名古屋栄		86	0	90	0	0	5	0	1	3	94.07%	
名古屋名南		55	9	53	9	0	0	0	2	4	83.92%	
名古屋名駅		70	6	78	6	0	11	2	3	4	98.98%	
名古屋丸の内		45	6	47	6	0	4	0	2	5	95.45%	
中部名古屋みらい		20	6	22	7	0	2	0	0	2	63.89%	
		13RC	1,061	38	1,082	41	2	70	21	49	9	90.50%

	クラブ名	会員数			当月女性	入会		退会		例 会 数	3月 出席率
		2016年 7月1日	2016年 7/1女性	2017年 3月末日		3月	累計	3月	累計		
東名古屋分区	名古屋北	102	0	106	0	1	9	1	5	5	98.12%
	名古屋東	89	0	90	0	1	5	1	4	3	86.31%
	名古屋守山	34	3	39	5	1	7	0	1	4	94.55%
	名古屋和合	103	0	100	0	0	1	0	4	4	87.38%
	名古屋名東	62	11	61	11	0	0	0	1	4	94.49%
	名古屋名北	36	5	36	5	0	1	0	1	5	96.64%
	名古屋千種	35	2	35	2	0	2	0	2	4	91.92%
	名古屋昭和	54	4	52	4	1	1	0	2	3	100.00%
	名古屋錦	28	9	28	9	0	2	0	2	4	84.75%
	名古屋東山	33	6	32	6	1	1	0	1	4	85.66%
	名古屋葵	20	0	19	0	0	0	0	1	4	69.74%
	名古屋アイリス	37	14	38	15	0	1	0	0	4	76.35%
		12RC	633	54	636	57	5	30	2	24	9
東三河分区	豊橋	110	2	108	1	0	4	0	6	4	90.19%
	蒲郡	57	0	62	0	0	7	0	2	5	90.29%
	豊橋北	64	4	67	4	0	5	1	3	4	95.51%
	豊川	74	1	72	1	0	0	1	3	5	90.50%
	田原	43	1	44	1	1	2	0	0	5	96.31%
	豊橋南	57	0	57	0	0	2	0	2	3	96.91%
	新城	49	2	49	2	0	1	0	1	5	83.93%
	渥美	31	0	36	0	0	5	0	0	5	88.24%
	豊川宝飯	62	2	61	2	0	0	0	1	4	94.33%
		12RC	702	16	709	16	3	30	4	24	9
西三河分区	岡崎	87	4	92	4	0	6	5	6	4	99.70%
	豊田	96	0	99	0	4	11	1	5	4	99.23%
	岡崎南	89	2	91	2	0	3	0	1	3	100.00%
	豊田西	94	0	102	0	0	11	0	3	3	100.00%
	岡崎東	55	1	55	1	0	1	0	1	4	99.02%
	豊田東	78	0	79	0	0	1	0	0	4	96.04%
	岡崎城南	65	0	65	0	0	2	0	2	4	91.41%
	豊田三好	20	0	21	0	0	2	0	1	3	93.75%
	豊田中	49	8	51	9	0	4	0	2	4	96.33%
		10RC	633	15	687	16	14	85	6	22	9
西三河分区	刈谷	92	6	94	6	0	4	1	3	3	100.00%
	安城	58	6	58	6	0	3	0	3	4	91.31%
	西尾	76	1	76	1	1	3	0	2	4	94.59%
	碧南	71	4	69	4	0	3	0	5	4	100.00%
	西尾一色	28	0	28	0	0	0	0	0	4	100.00%
	高浜	32	2	31	2	0	2	0	3	4	100.00%
	知立	61	0	62	0	0	2	0	1	5	100.00%
	藤原KIRARA	56	1	57	1	0	3	0	2	4	100.00%
	三河安城	61	6	63	6	0	2	0	0	4	97.01%
		9RC	535	26	538	26	1	22	1	19	9

	クラブ	平均
平均出席率	84	92.58%

地区内クラブ数 84RC	7月1日会員数	4,745名 内女性 211名	増加会員数 (累計)	285名
	3月末会員数	4,853名 内女性 220名	減少会員数 (累計)	177名
	当月平均出席率	92.58%	差引純増会員数 (累計)	108名

3月	入会	退会	純増
	26名	41名	-15名



国際ロータリー 第2760地区 ガバナー 服部 良男



ガバナー事務所

TEL : 052-203-2760 FAX : 052-201-1670
E-mail : governor16-17@rotary2760.org

ガバナーエレクト事務所

TEL : 052-201-2760 FAX : 052-201-1670
E-mail : governor17-18@rotary2760.org

ロータリー財団

TEL : 052-211-2760 FAX : 052-211-0230
E-mail : fbranch@rotary2760.org

米山記念奨学・青少年交換

TEL : 052-228-0808 FAX : 052-211-0230
E-mail : ybranch@rotary2760.org (米山記念奨学)
yebranch@rotary2760.org (青少年交換)

滝山東照宮

滝山東照宮は久能山・日光と並ぶ日本三大東照宮の一つとされ、徳川三大将軍家光によって、正保二年(1645年)～三年に建立されました。
滝山寺につたえる由緒書によれば、徳川三代将軍家光が、酒井忠勝、松平右衛門大丈および瀧山寺の青竜亮盛の三人を召して、「三河の国は徳川家の本国、岡崎城は家康誕生の地で、また、在世の本城であるから、岡崎付近に権現様を勧請したい。」「幸いにも、滝山寺は古跡で岡崎の要所の地にも当たり、家康が岡崎在城の節、信仰も厚かった霊地であるから、この地に東照宮を勧請するように・・・」と命じて神社が創建されました。
社は、滝山寺本堂の東、やや小高い場所を整地し正保二年(1645年)五月に着工し、同三年九月に竣工したと伝えられています。